

災害時や平時の防災予防で連携 (株)テレビ宮崎と協定を締結

11月5日、市と株式会社テレビ宮崎（寺村明之代表取締役社長）の間で「防災パートナーシップに関する協定」が締結されました。この協定は、災害時の連携に加え、平時から災害予防対策について連携を図ることを目的として締結。地上波テレビ放送やホームページなどの媒体による防災情報の配信や、相互の情報提供の促進が図られます。



寺村社長は「今年は豪雨や台風に見舞われ、報道機関の使命を痛感した。災害に強い持続可能な社会を目指して連携していきたい」と話していました

仮装してまちなかでハロウィン

10月31日、中心市街地で「小林まちなかハロウィンウォーク」が開催されました。感染症対策をしながらまちなかを盛り上げるイベントとして、小林まちづくり(株)が赤松通り商店街と企画。仮装した子どもたちが、お菓子をもらいながら商店街を練り歩きました。



県内の沿線が集まり鉄道の魅力をPR

10月31日、宮崎駅で「鉄道の日感謝祭」が開催され、JR吉都線利用促進協議会（事務局：小林市）が参加しました。吉都線のPRでは大野勇太さんのライブもあり、吉都線の魅力などを紹介。またNOBU（市ふるさと大使）さんのライブも盛り上がりしました。



宮原市長に準優勝について報告する（写真右から）緒方克哉さん、深見真奈さん、前田直輝さん、増田悠希さん、戸高愛さん

高校生英語ディベート大会 県大会準優勝で全国大会へ出場

11月12日、小林高校の2年生5人が12月に開催される「全国高校生英語ディベート大会」に出場することを宮原市長に報告しました。同5人は10月開催の県大会で準優勝となり、全国大会出場を獲得。県大会でベストディベーター賞を受賞した緒方克哉さんは「県大会の反省を生かして、ベストを尽くしたい」と抱負を述べました。

秀峰高校生が生駒高原でおもてなし

10月24日、25日、小林秀峰高校3年生有志が生駒高原でおもてなしイベントを開催しました。地域を活性化しようと同校が昨年から取り組んでいるもので、ハーバリウム体験やスタンプラリーなど、高校生が考えたおもてなしで来場者を歓迎しました。



芸術の祭典で文化の秋を堪能

10月31日、11月1日に市総合文化祭が市民体育館、中央公民館、野尻町農村改善センターで開催されました。今年は、感染症対策をとったうえで作品展のみ開催。期間中は延べ4600人が会場を訪れ、展示された作品をとおして文化の秋を堪能しました。



断酒会の平岡さんが精神保健福祉 事業功労者宮崎県知事賞を受賞

10月31日、宮崎県精神保健福祉大会で平岡勇蔵さんが精神保健福祉事業功労者宮崎県知事賞を受賞されました。

平岡さんは『断酒会西諸支部』で長く支部長として活動。また、自らの依存症体験を参加者に伝えるなど、依存症患者やその家族の支援に熱心に取り組む活動が評価され、受賞となりました。



平岡さんは「長く続けているからこそ、名誉ある賞をいただけたと思います。これを励みに、さらに頑張りたいです」と受賞の感想を話しました。



試合時や公式ホームページの選手紹介では「宮崎県小林市」出身と明記されており、寺田さんが試合で活躍することで小林市のPRにつながります

「K-1」でふるさと小林をPR 寺田匠さんがPR大使に就任

11月4日、真方出身でK-1ファイターの寺田匠さんにこばやしPR大使を委嘱しました。寺田さんは、4月のプロデビュー戦を勝利で飾り、前日の11月3日に行われたプロ2戦目も1RKOで見事に勝利。就任に当たっては「夢に向かってしっかりと練習に取り組み、PR大使の名に恥じないようにがんばりたい」と話していました。

長年にわたり市政発展に尽力された2人を表彰 令和2年小林市市民表彰式

11月3日、小林市市民表彰式が文化会館で行われました。今年は、市政各分野の発展、向上に功績のあった2部門2人が表彰されました。市長から表彰状と記念品が贈られると、代表して井手さんが「皆様のご指導、ご支援に感謝するとともに、郷土のため今後も努力していきます。」と謝辞を述べました。



同伴の家族らと一緒に記念撮影



謝辞を述べる井手さんと堀之内さん



<産業経済部門>

井手 敦巳 さん

長きにわたり、野尻原土地改良区の理事、理事長として、地域の土地改良事業や農業の発展に尽力した。また営農組合役員、多面的共同活動組織の代表など、地域のまとめ役として貢献。西諸土地改良区の理事、理事長としても活躍し、農業振興に寄与した。



<公共福祉部門>

堀之内 悦子 さん

長きにわたり、保護司として保護観察者の指導や生活相談役など、社会復帰への手助けを行った。また、広報こばやしなどの音訳をはじめ、視覚障がい者への情報提供を積極的に行っている。培った知識と経験を活かし、音訳奉仕者も多く育て、視覚障がい者の生活の向上に寄与した。

地域団体×健康づくり

NPO パートナシップ創造事業補助金
地域が主体となって健幸のまちづくりを推進

地域に根ざした活動を行う市民活動団体などと協働して事業を行うことで、魅力と活力のある地域社会の実現を目指す NPO パートナシップ創造事業補助金。今年度は、健康づくり活動に取り組み団体を公募し、採択された5団体の事業が実施されました。



傘によるフィジカルディスタンス（身体的距離）を保ちながら細野のまちを歩きました（主催：細野まちづくり協議会）



子どもから大人まで幅広い世代の人が梨園までの往復ウォーキングと梨狩りをたのしみました（主催：永久津いきいき協議会）



参加者が自ら考えたオリジナル競技で競い合い、宮崎大学と協力して気球も飛ばしました（主催：南校区まちづくり協議会）



子どもたちが自ら遊び場をつくりながら体を動かす空間です（主催：北きりしま冒険遊びの会）

シニアパワーで健康づくりを活性

高齢者の持つ知恵や経験などを活かして、活動する個人・団体を県が表彰する「令和2年度みやざきシニアパワー章」をこばやしウォーキングクラブが受賞。代表のこまえかずよし小前一良さん（写真④）と同会員のとみよし富吉幸徳さん（写真⑤）が宮原市長に報告しました。




秋晴れのなか、運動公園内を気軽にウォーキング。歩幅測定サービスもありました（主催：こばやしウォーキングクラブ）

販路拡大やファンづくりを目指して「九州探検隊」が小林の魅力を発見

11月18日、九州で百貨店を経営する株式会社博多大丸を「九州探検隊」アンバサダーに認定しました。「九州探検隊」は、まだ知られていない九州のいい「モノ」「コト」「文化」を発見することを目的に活動。ウェブでの魅力発信や百貨店の売り場を活用してのイベントなどを通じ、特産品の販路拡大や小林のファンづくりを目指します。



認定式に参加した高田徹取締役（右から2人目）は「売り場や固定顧客といった強みを活かして、小林の特産品をPRしていきたい」と話していました

ランドセル寄贈

11月6日、坂口建設（株）と（株）三共が市にランドセル4つを寄贈しました。坂口建設の松岡重孝代表取締役は「子どもたちの笑顔が見えるお手伝いがしたいという思いから始まりました。数は多くはないが、今後も継続していきたいです。」と話していました。



防疫体制の初動体制と連携を確認

11月9日、高病原性鳥インフルエンザの防疫演習を県と市の合同で実施しました。市内での発生を想定し、県の対策本部とテレビ会議システムで情報を共有しながら、消毒ポイントや埋却地の掘削計画などの初動防疫体制と手順などについて確認しました。



左から押川所長、橋口支社長。橋口支社長は「市やハローワークと連携して、多くの方を雇用できるように今後も努力していきたい」と話していました

コロナ禍における雇用を促進
秘書センター(株)と連携協定締結

11月18日、コールセンター業務などを行う秘書センター(株)宮崎支社（橋口和悦支社長）との「コロナ禍における雇用に関する連携協定」が、ハローワーク小林の押川博之所長立ち会いのもと締結されました。今後、東京本社での業務の一部を小林に移管することで、今年度中に20人、将来的には50人の雇用が創出される見込みです。

高校受験を控えた生徒を高校生が支援

11月4日、細野中学校で小林高校1、2年生12人が同中3年生に学習支援を行いました。同高校の探求科学コースの生徒が地域課題研究の一環として発案したものの。少人数にわかれたグループで、高校生が過去の入試問題などを丁寧に解説していました。



戴帽で看護職への決意を新たに

11月6日、小林看護学校の戴帽式が市民活動支援センターで行われました。今回、戴帽された1年生14人を代表して、坂元里江さんが「誰からも信頼され、思いやりのある看護職になれるよう日々の学習を大切にしていきます。」と決意を述べました。




 こども部門最優秀賞



作品名：こすモ～、大好きだよ！！
受賞者：(2人合わせて) なかよしきょうだい さん



こすモ～のちぎり絵は初めてだったけど、ちぎり絵は得意なのでそんなに難しくなかったです。「おめでとう」の文字や白いところがないようにはるのが大変だったけど、グランプリを取ってうれしいです。


 おとな部門最優秀賞



作品名：こすモ～ちゃんに感謝を込めて
受賞者：特別養護老人ホーム陽光の里デイサービス
※表彰式には陽光の里施設長 宇都俊彦さんが出席



受賞できるとは思ってもみなかったのですが、受賞の知らせを聞いて制作されたデイサービス利用者の方や職員も喜んでいました。着物やわらじは、利用者の方が使っていた着物を利用しており、いきいきと制作されていました。

 こども部門優秀賞




受賞者：らいちゃん さん
作品名：こすモ～りーす



受賞者：みいさ さん
作品名：大好き、こすモ～♡



受賞者：Mei さん
作品名：コスモス花火！

 おとな部門優秀賞



受賞者：はらっぱ さん
作品名：フラワーネックレス



受賞者：Strawberry Mammy さん
作品名：こすモ～弁当



受賞者：Nick350 さん
作品名：こすモ～の秋休み
(動画作品)

いい肉のまち小林プロジェクト第3弾

こすモ～お誕生日プレゼントコンテスト
最優秀賞2点、優秀賞6点が決定！

10月29日のこすモ～のお誕生日に合わせて、こすモ～へのプレゼントコンテストが開催されました。

このコンテストは、「いい肉のまち小林プロジェクト」の第3弾として開催されたもので、こすモ～へのお祝いメッセージを添えた誕生日プレゼントを募集。こども部門24点、おとな部門28点の合計52点の作品の応募があり、各部門で最優秀賞(グランプリ)1点と優秀賞3点が選ばれました。

10月31日(土曜)には市役所で表彰式が行われ、受賞者には、こすモ～限定グッズや宮崎牛の消費券が贈られました。



今回限りの限定グッズをご紹介します！

受賞者には、このコンテストのためだけに作成された限定こすモ～グッズが記念品として贈られました。

ここでは、最優秀賞受賞者に贈られた激レアこすモ～グッズをご紹介します。



㊦ 鷹山窯(川路鷹山さん)が作成したプレート、マグカップ、器の3点セット。普段づかいできるように、電子レンジや食器洗い機でも使用できるように作られています。

㊦ いこま屋(國生真由美さん)が作成したこすモ～刺繍入りクッション。

裏面にはこすモ～の後ろ姿も刺繍されており、可愛いクッションに仕上がっています。



お祝いしてくれて
ありがとモ～！

